

令和2年7月16日

県立大学冒頭コメント

島根県立大学出雲キャンパスの対応について、説明いたします。

1. 7月14日に、25例目の患者が濃厚接触者との連絡があった以降、大学では
 - ①看護栄養学部の14日午後からの授業をすべて休講とし、
 - ②全学生に対して、自宅待機、人との接触を控えるよう指示した。
 - ③実施中の看護実習については中止した。

2. また、
 - ①コロナ感染防止対策本部会議を開催し、学長から3キャンパスに対し感染防止対策の徹底を指示
 - ②あらためて、学長の指示を受け、授業の実施方法、就職活動、クラブ・サークル活動、感染防止対策や健康観察等の取り扱いについて、キャンパス毎に学生、教職員に周知した。
 - ③学長メッセージをHPに掲載

3. 出雲キャンパスにおいては、
 - ①キャンパスを立入禁止とし、限られた教職員で対応
 - ②全学生、教職員に対し、15日以降順次PCR検査を実施する旨メールで連絡
 - ③順次PCR検査を実施
 - ④保健所の指導のもと、学内の消毒作業を明日（7月17日）に実施予定

4. 次に、先ほど健康福祉部長から説明のあった学生の大学での対面授業への参加について補足しますと、
授業は遠隔授業を主として実施。但し、対面授業を特に必要とする場合、感染拡大防止対策の徹底を前提に実施しています。
具体的には、対面授業は広い部屋で実施、人の間隔を2 m以上確保、30分に一回以上は換気を実施、実習時のフェイスシールドの使用など。
5. また、学内では、三密を防ぐため教室や食事場所を限定するなどの対応を行ってきた。
6. これまでも学生・教職員に対しては、県外からキャンパス所在地に移動した際には、帰着後2週間の健康観察を行ってきたが、引き続き徹底していく。
引き続き、①「三つの密」(密閉空間、密集した場所、密接した会話)を避ける、②人と人との距離をとる、③マスクの着用、④手洗いをこまめに行うことなど、基本的な予防策を徹底していきたい。
7. 出雲キャンパスでは、現在のところ、学生・教職員の中で体調不良があるという報告は受けていないが、大学としては、保健所の調査に全面的に協力し、保健所の指導のもと、感染症防止のための対応を学生に行ってまいります。
8. 最後に、先日の会見時に、学長に問い合わせがあり、出雲キャンパスの学生教職員数について、会見終了後に情報提供しました。その際、出雲キャンパスの学生数491名 教職員83名とお知らせしたが、教職員数については、嘱託職員10名が含まれていなかったため、93名と訂正させていただきます。